

旅行業務取扱管理者 スピード合格講座
問題集 2022年度試験対策

1A

旅行業法

本書の使い方

本書は、過去の本試験問題をテキストに出てくる順に掲載してありますので、テキストを前から読みながら、問題演習することができます。

章がまたがる問題については、原則として、後ろの章に掲載しました。
すべての問題について、

難易度を表示しました。

- A…… やさしい問題でとりこぼしのできない問題
- B…… ややむずかしいがとらなければならない問題
- C…… かなりむずかしいが50%ぐらいの確率で解ける問題
- D…… 超難問で誰も解けないので演習不要の問題

解答時間の目安を表示しました。

出題年次を明示しました。

Q8-1

難易度 A 時間の目安 1分00秒 出題 H28-総合-1

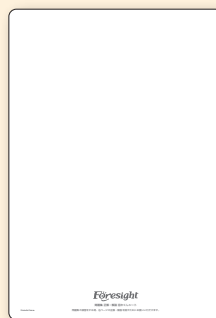
次の記述のうち、旅行業法の目的として定められているものをすべて選びなさい。

この問題は、やさしい問題で、解答時間の目安は1分、平成28年に実施された、総合管理者試験の問1であることを示します。

正解は、解答解説ページの下側に配置し、文字の濃度を薄くして、演習中に見えにくいようにしました。

正解 A1-1 a. d.
A1-2 a. b. c.

解答解説ページを見ないようにするためには、受講ガイドにはさんであります「目隠しシート」をお使いください。



問題演習の取り組み方

問題演習はあくまでも実力アップのために取り組むものです。単に答えがあっているかどうかだけでなく、答えを導くまでの過程が大切です。ですから、以下のよう実践してみてください。

- ① フォーサイト演習ノートをご活用ください。1つの選択肢ごとにそれぞれ理由を書きながら解いてください。時間がかかりますが確実に実力がアップします。特に誤りだと思った選択肢については、ただ漠然と誤りだと判断するのではなく、「どの部分が誤りで、そこをどのように訂正すると正しい内容になるのか」を書き出すようにしましょう。
- ② 問題集は何回も繰り返し学習するため絶対にボールペン等で書き込みをしないようにしてください。また、鉛筆を使用する場合でも強く書くと跡が残りますので、注意しましょう。
- ③ 最初のうちは時間がかかると思いますが、徐々に解くスピードが速くなりますので、時間を気にしないようにしてください。
- ④ 終了後解説を確認して答えあわせをしてください。この際、以下のことを守ってください。
 - 重要だと思うことはテキストの余白に書き込んでください。
 - 答えあわせにおいて重要なことは答えが正しいかどうかではなく、自分の考えたプロセスが正しいかどうかです。自分のノートと解説をよく見比べてください。
 - 答えあわせの後、次回演習の目安とするため問題に○・△・×のいずれかを記入してください。

- …… 正解し、理解しているので再学習不要
- △…… 正解だが考え方が不安なので再度学習
- ×…… 不正解、理解していない

1	X 10月1日	2	△ 10月2日	3	O 10月4日	4	月 日	5	月 日
	Time 2分45秒		Time 2分10秒		Time 1分30秒		Time 分 秒		Time 分 秒

以上の方法により、過去問を3回以上繰り返してください。なお、2回目以降は前述の△・×の記載のある問題を中心に演習しましょう。

なお、**捨**という印が解説にある選択肢は、受験対策上、学習不要です。

最後に、受講生から、よく「私は同じ問題を何度も同じ箇所間違えるのですが」と相談を受けます。人間誰しも同じ過ちを繰り返すものです。間違えた問題には正確に内容を理解できるまで何度も挑戦してみてください。

Q1-1	難易度 A	時間の目安 1分00秒	出題 R2-総合-1	A1-1	1	月 日	2	月 日	3	月 日	4	月 日	5	月 日
					Time	分 秒	Time	分 秒	Time	分 秒	Time	分 秒	Time	分 秒

次の記述から、「法第1条（目的）」に定められているものだけをすべて選んでいるものはどれか。

- (ア) 旅行業等を営む者が組織する団体の適正な活動の促進
 - (イ) 旅行業務に関する取引の公正の維持
 - (ウ) 旅行業等を営む者の利便の増進
 - (エ) 旅行業等を営む者の業務の適正な運営の確保
- a. (ア)(イ) b. (イ)(ウ) c. (ア)(イ)(エ) d. (ア)(ウ)(エ)

〔第1条全文〕

この法律は、旅行業等を営む者について登録制度を実施し、あわせて（エ）旅行業等を営む者の業務の適正な運営を確保するとともに、（ア）その組織する団体の適正な活動を促進することにより、（イ）旅行業務に関する取引の公正の維持、旅行の安全の確保及び旅行者の利便の増進を図ることを目的とする。（ウ）は、「旅行業等を営む者の利便の増進」とあるが、このような記述はないので誤り。

Q1-2	難易度 A	時間の目安 1分00秒	出題 R1-総合-1	A1-2	1	月 日	2	月 日	3	月 日	4	月 日	5	月 日
					Time	分 秒	Time	分 秒	Time	分 秒	Time	分 秒	Time	分 秒

次の空欄（ア）～（エ）に当てはまる語句の組合せで、正しいものはどれか。

法第1条（目的）

この法律は、旅行業等を営む者について登録制度を実施し、あわせて旅行業等を営む者の業務の適正な〔ア〕するとともに、その組織する団体の〔イ〕を促進することにより、旅行業務に関する〔ウ〕の維持、旅行の安全の確保及び旅行者の〔エ〕を図ることを目的とする。

- | | | | | |
|----|-------|-------|-------|-------|
| | (ア) | (イ) | (ウ) | (エ) |
| a. | 体制を確保 | 公正な活動 | 取引の自由 | 利便の向上 |
| b. | 運営を確保 | 適正な活動 | 取引の公正 | 利便の増進 |
| c. | 運営を確保 | 公正な活動 | 取引の自由 | 利便の増進 |
| d. | 体制を確保 | 適正な活動 | 取引の公正 | 利便の向上 |

旅行業法第1条は、

“この法律は、旅行業等を営む者について登録制度を実施し、あわせて旅行業等を営む者の業務の適正な（ア）**運営を確保**するとともに、その組織する団体の（イ）**適正な活動**を促進することにより、旅行業務等に関する（ウ）**取引の公正**の維持、旅行の安全の確保及び旅行者の（エ）**利便の増進**を図ることを目的とする。”と定める。

正解 A1-1 c.
A1-2 b.